

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年9月13日（月）

2 確認箇所

- ・既設多核種除去設備
- ・5号機南側ヤード（5号機原子炉建屋南側）

3 確認項目

- （1）既設多核種除去設備（B）クロスフローフィルタ入口側フランジ部からの漏えい状況
- （2）2号機主変圧器等の解体準備作業の状況

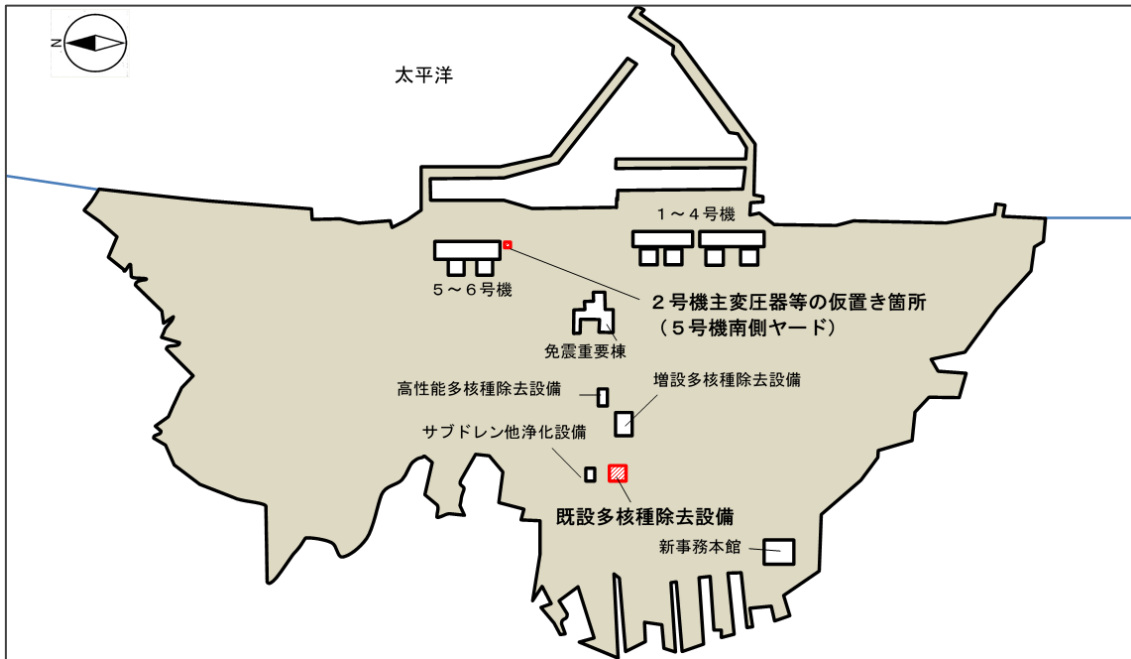
4 確認結果の概要

- （1）既設多核種除去設備（B）クロスフローフィルタ入口側フランジ部からの漏えい状況について

本日（9月13日）9時22分、全台停止中の既設多核種除去設備建屋において、漏えい検知器が作動したことを示す警報が発報し、クロスフローフィルタ※入口側フランジ部からの水の漏えいが発見されたため、現場の状況を確認した。（図1）

- ・現場確認時（10時30分頃）、クロスフローフィルタ入口側フランジ部からの漏えいはフランジ部のボルトの増し締めにより停止していた。なお、漏えいした水は堰内に留まっていた。（写真1）
- ・東京電力によると、漏えい範囲は約2m×3m×深さ10mmであり、漏えいした水については11時12分に拭き取りが完了したとのことであった。なお、漏えいした水については堰内に留まっていることから外部への影響はなく、今後、漏えい発生の原因調査及び再発防止対策の検討を行うとのことであった。

※ クロスフローフィルタ：後段の吸着塔における放射性物質の吸着を阻害する物質を除去するために用いられているフィルタで、処理水をフィルタに対して並行に流すことにより除去する物質がフィルタに堆積する現象を抑制しながらろ過を行うもの。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
既設多核種除去設備内の状況
(漏えいが発生した付近の状況)

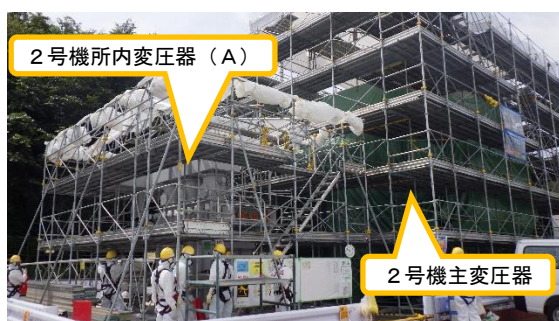


(写真1-2)
漏えいが発生したフランジ部の状況

- (2) 2号機主変圧器等の解体準備作業の状況について
2号機原子炉建屋使用済燃料プールからの燃料取り出しに伴うヤード整備の一環として撤去され、5号機南側ヤードに仮置きされている2号機主

変圧器及び2号機所内変圧器（A）について、解体に向けた準備作業が実施されていることから状況を確認した。（図1）

- ・現場確認時、2号機所内変圧器（A）解体作業用の足場組立作業が行われていた。（写真2）
- ・東京電力によると、当該変圧器については、事故時に飛散した放射性物質により汚染されていたが、除染作業は既に終了しているとのことであった。なお、解体時の機器切断等において放射性物質を飛散させないために解体作業はハウス内で実施するとともに、ハウス内部は局所排風機によってダストの集塵を行い、解体エリア周辺においては連続ダストモニタによる監視も行うとのことである。



（写真2）

5号機南側ヤードの状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。